

海外派遣高校生の 事前研修会が始まりました

4月24日(木)タスカルーサ市派遣高校生への説明会が開かれました。渡された「習志野市青少年海外派遣のしおり」を手にした市内4高等学校の海外派遣生たちは、旅の始まりの感動を隠し切れない様子でした。また、5月10日(土)には保護者に対して、海外渡航準備の必要事項等の説明会が開かれました。

今回の海外派遣生は4校から参加するために、参加する生徒同士の交流が必要と考え、5月26日(月)に20名の派遣生を対象とした「第1回研修会」が開催されました。この研修会は「お互いを良く知り、仲良くなろう」をテーマとして、NI-Youthの大学生が、グループワークを中心に指導にあたりました。

まず初めに特別ゲストとして、3年前にアラバマに行ったKさんが貴重な体験談を話しました。実際に行った人から話を聞くことはとても重要であり、派遣生のモチベーションも上がったと感じました。次に簡単で海外でよく使う4つの英語のフレーズを用意し、NI-Youthが軽く説明した後、派遣生にいくつかのグループに分かれてもらい、それらのフ

レーズを含んだ英会話を彼ら自身で作りと、発表してもらう簡単な英会話授業を行いました。どのグループもみんな協力し、しっかりコミュニケーションをとって、とても楽しそうでした。

6月には、習志野市を訪問するタスカルーサ市青少年訪問団と、今回の海外派遣高校生と一緒に山梨県を観光し、富士吉田青年の家に一泊します。このまたとないチャンスをどのように生かすか、バスでの移動時や富士吉田青年の家で生徒たちがどのように交流するか、みんなで話し合いました。派遣生は本当に積極的で発想が豊かで、折り紙や福笑いやビンゴなどたくさんの良い案が出されました。次回の事前研修会では、その良い案を実現できるものに絞り、来日に向けてしっかり準備することにしました。研修会が終わるころには、一人ひとりが習志野市を代表するに相応しいメンバーとしての自覚とチームの団結を実感したようです。

海外派遣高校生への事前研修は、7月24日の出発までに、あと数回開催される予定です。

(報告 伊藤綾香 NI-Youth)



平成26年度海外派遣高校生のメンバー